

インフルエンザ流行拡大に関する注意喚起 及びインフルエンザ様疾患発生報告について (第 40 報)

平成 29 年第 5 週(1 月 30 日～2 月 5 日)における、県内のインフルエンザの定点医療機関当たりの報告数が「**30.92 人**」となり、警報レベルの目安としている 30 人を超えました。

引き続き感染予防及び感染拡大防止のため、手洗い・うがい、せきエチケットなど、個人でできる予防対策のさらなる徹底をお願いします。

また、下記のとおり、インフルエンザ様疾患の集団発生により措置を行った旨の報告がありましたので、お知らせします。

1. インフルエンザ流行状況

● 定点医療機関あたりの患者報告数 (感染症発生動向調査)

週	1 週 1/2～1/8	2 週 1/9～1/15	3 週 1/16～1/22	4 週 1/23～1/29	5 週 1/30～2/5
富山県	7.06	9.98	17.56	26.27	30.92
全 国	10.58	15.25	28.66	39.41	(2/10 公表予定)

※ 定点医療機関数 富山県：48 医療機関、全国：約 5,000 医療機関

● 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数 (平成29年第5週)

新 川	中 部	高 岡	砺 波	富山市
40.29	45.60	26.77	28.71	26.56

【参考】

国立感染症研究所は、インフルエンザの流行状況の指標として、下記のとおり、全国共通の基準値を設定しています。

○**注 意 報**：1 週間の定点医療機関当たりインフルエンザ患者報告数が 10 人以上
→今後大きな流行が発生する可能性がある

○**警 報**：1 週間の定点医療機関当たりインフルエンザ患者報告数が 30 人以上
→大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われる

2. インフルエンザウイルス検出状況

- ・県内では **AH3 亜型 (A 香港型)** が 69 件検出されています。
- ・全国では **AH3 亜型の検出数が 1,699 件** と最も多く、次いで AH1pdm09 や B 型も検出されています。

	AH3 亜型	AH1pdm09	B 型	備考
富山県	69 件	2 件	0 件	2016 年第 36 週～2017 年第 4 週 ※2017 年 2 月 1 日現在
全 国	1,699 件	109 件	55 件	2016 年第 36 週～2017 年第 3 週 ※2017 年 1 月 26 日現在報告数

3. インフルエンザ様疾患の集団発生による措置状況

●学級閉鎖等の措置をとった施設

整理番号 *1	名 称	所在地	生徒数 *2	患者数 *3	うち欠席者 数	措置 (学年、学級)	期間
5-2	滑川市立北加積小学校	滑川市中塚	19	9	8	学級閉鎖 1年生1クラス	2/8-9
17	高岡市立伏木小学校	高岡市伏木東一宮	33	15	12	学年閉鎖 1年生	2/8-9
18	射水市立片口小学校	射水市片口高場	39	23	22	学年閉鎖 6年生	2/8-10
19	砺波市立出町幼稚園	砺波市表町	15	6	4	学年閉鎖 年長組	2/7-9
20	砺波市立北部幼稚園	砺波市林	48	15	15	学年閉鎖 年長組	2/7-10
21	富山短期大学付属みどり野幼稚園	富山市願海寺	33	6	6	学年閉鎖 年中組	2/7-8
22	富山市立大久保幼稚園	富山市下大久保	18	8	6	学年閉鎖 年長組	2/8-10
23	富山市立寒江小学校	富山市本郷中部	11	5	5	学年閉鎖 6年生	2/8-9
計			216	87	78		

*1 番号は週ごとに更新し、同一週内で同じ学校に追加の措置があった場合は枝番でカウントします。

*2 「生徒数」は、学級閉鎖等の措置に係る学級、学年の生徒数の合計です。

*3 「患者数」は、インフルエンザ様症状による欠席者数に、出席者で症状のある生徒数を加えたものです。

注:本リストは暫定情報です。締め切り後に措置が変更又は決定されたものなどについてはリストに含まれていません。

●本日の措置施設数 (学年閉鎖と学級閉鎖の措置を併せてとった施設は「学年閉鎖施設」に計上します。)

	保育所・幼稚園	小学校	中学校	その他	計
休校					
学年閉鎖	4	3			7
学級閉鎖		1			1
計	4	4			8

●本県の今シーズンの集団発生状況 (臨時休業等の措置をとった施設の累積数；今回発表分を含む)

施設数	施設数内訳				措置内訳			生徒数	患者数	うち 欠席者数
	保育所 幼稚園	小学校	中学校	その他	休校	学年閉鎖	学級閉鎖			
133	15	89	22	7	2	75	56	6,816	2,863	2,230

4. 予防のポイント～感染予防の徹底、感染拡大防止のお願い～

- 手洗いとうがいを徹底しましょう。
- 十分な睡眠やバランスの良い食生活など、健康的な生活を心がけましょう。
- 家族や周りの人にうつさないために、せきエチケットを徹底しましょう。
 - ・せきやくしゃみがでそうなときは、ティッシュ等で鼻と口を覆い、周りの人から顔をそらしましょう。
 - ・せきやくしゃみが続くときはマスクを着用しましょう。
- 急な発熱やせき等の症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。
- 乳幼児やお年寄り、妊娠中の方、基礎疾患（呼吸器疾患、慢性心疾患など）をお持ちの方は特に注意が必要です。日頃からかかりつけの医師と相談しておきましょう。
- インフルエンザにかかったら、無理をせず、登園や登校、出勤をひかえるようにしましょう。

※ 報道機関の皆様には、インフルエンザの予防及び感染拡大防止のため、県民の方々に対する注意喚起に格段の御協力をお願いいたします。

○インフルエンザに関する情報については下記のホームページをご覧ください。

- ・国立感染症研究所 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>
- ・富山県感染症情報センター <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/inful/infull.htm>